

2023

12

UNZEN
Destination
Marketing
Report

2023
December



photo by UKAWA PHOTO

雲仙市観光マーケティングレポート

Unzen City Tourism Marketing Report

2023年12月号

一般社団法人 雲仙観光局

UNZEN Destination Service

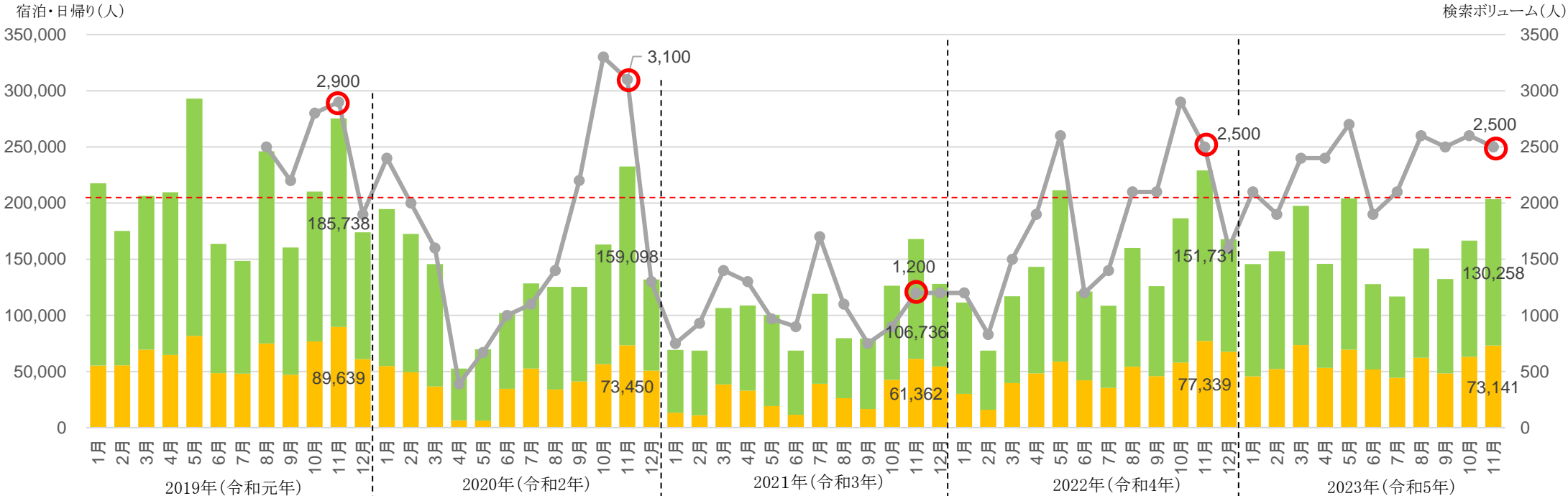
11月の雲仙市への訪問客数 203,399人

2023年11月の訪問客数は20.3万人と紅葉のピークを迎えて先月対比では122%と増加した。2023年度では5月に次ぐ2番目に多い来訪者数となった。ただし、前年同月比では日帰り・宿泊とも減少している。

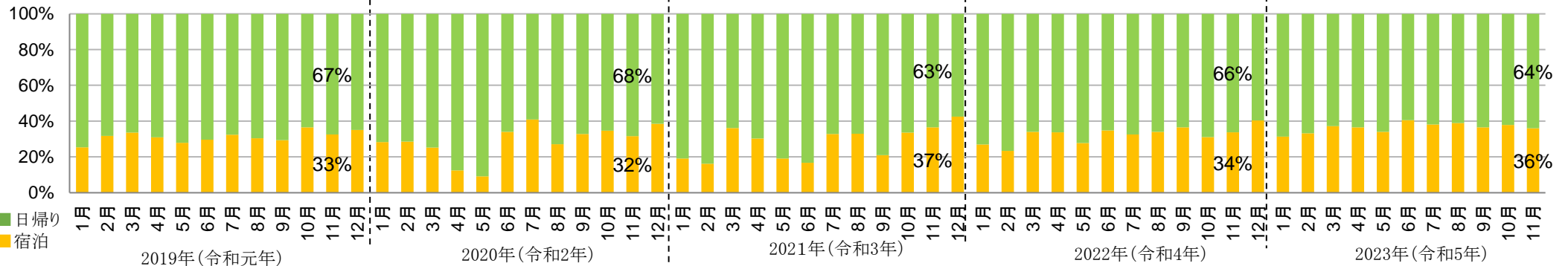
	訪問客数			検索ボリューム
	日帰り	宿泊※		
先月比	122%	116%	96%	
前年同月比(2022年比)	89%	86%	100%	
コロナ前同月比(2019年比)	74%	70%	86%	

※延べ宿泊滞在数(例1名が2泊3日の場合は3名とカウント)

訪問客数・検索ボリューム推移



日帰り・宿泊構成比



雲仙観光情報サイトFindUNZENフルリニューアルのお知らせ

雲仙観光局は「誰の為に、何の為に観光サイトはあるべきか」という根本的な部分から見直し、観光客の方が雲仙に行きたくなるWEBサイトを目指しフルリニューアルを行いました。旧両温泉協会時代から蓄積されてきたドメインパワーや情報をしっかりと引継ぎ、必要な情報の探しやすさを向上させ、現状の旅行ニーズなど観光動向のデータに基づきサイトを構築。そういった土台の上に、エリアや趣味嗜好、またその日の気分で検索できるような機能を実装。

旅は楽しいもの。雲仙に来る前から、ワクワクしながら雲仙の知ってほしい魅力や想いに触れていただけるようなサイト構成を目指しました。

ブランドステートメント

雲仙を
自分らしい
見つけ
ける



火山の上に織りなす、あまりにもあまりにも多種多様な雲仙のたからもの。

あなたが望む旅の出会い。あなたが思い浮かべる雲仙の表情。それは山か空か海か。それとも温泉か湯煙か。あの人かあの場所かあの風景か。

何にふれるか、どこに行くのか、誰とであうのか。そのきっかけをFindUNZENで見つけてください。

目線をあげれば、色鮮やかな自然に包まれる山肌。歩けば、からだをまとう湯煙。あいさつからはじまる、なにげない会話。開湯1300年を誇る乳白色の硫黄泉、雲仙温泉、橘湾の海岸線に広がる、熱量日本一の小浜温泉。火山がもたらす肥沃な大地には、多様な雲仙野菜が実り、山間部では酪農が盛んです。火山に降り注いだ雨が流れ、滲み出る水と養分は、有明海を豊かな漁場にしています。雲仙市の海の玄関口、多比良港。そして、海岸線を沿うように走る島原鉄道。城下町の佇まいを残した町並みと神社仏閣。日本最初の国立公園は、自然の脅威と恵みを学ぶ場であり、地獄と共に生きる暮らしと誇り。これだっけと一握り

スマートフォンTOP



リニューアルポイント

■完全スマホファーストで構成されたサイトデザイン

情報を収集する際の手段として一番使われることの多いスマホ。過去運用していた雲仙観光局の各サイトの利用も平均して約70%のユーザーがスマホで情報収集を行っていました。

ビジネス上はPCでの作業が多いため、WEBサイトはPCで見やすいものになりがちですが、あくまでも観光客の方の利便性に特化するため徹底したスマホファーストで作成いたしました。

■お客様の旅に行くまでの気持ちの動きや 情報収集（カスタマージャーニー）に沿った情報提供

従来のサイトは、地域の人にしかわからない特有のエリア分けや、一緒にたにされたお店情報や見どころが多く掲載され、観光客にとっては必要のない情報が掲載されているケースも多く見受けられます。本サイトでは、「モデルコース」「旅のテーマ」「今の気分」などカテゴリー別に入り口を準備し、雲仙の基礎情報が全くない人でも気軽に検索がしやすいサイトになっております。

■ビジュアルベースでの訴求と情報量・メッセージの精査

行ってみたい、やってみたい、食べてみたいとファーストインパクトは旅の大きな決め手となります。本サイトを見たことで、そう思ってもらえるようなビジュアルが際立つデザインを起用。また最適な情報を最適なタイミングで伝えられるように導線や情報量についてはこだわって作成。シンプルなあしらいでストレスなくサイト内を回遊いただけるように更に改良と運用を行っていきます。

Find UNZEN 雲仙観光情報サイト 自分らしい雲仙を見つける



第2回「国見の良さを伝えるWG」

国見エリアの価値を地域の方や外の方と共に見直し、整理し、共有するための方法やコンテンツに落とし込んでいくこちらのWG。第2回となる今回は、「国見への来訪者に体験してほしいこと」をテーマとし、多種多様な業種の方が集い、話し合いました。第1回目で出し合った観光資源を組み合わせ、いつ、どこで、誰に、なにを体験してほしいのかをより具体的に考えていきました。【野菜や果物のB級品×スムージー作り】、【乗馬体験×百花台公園】、【フェリー×サンセットクルージング×卒業旅行や同窓会】など、実現化させたいアイデアがたくさん出てきました。次回のWGでは、ここから更に深掘りしていききたいと思います。



日時：12/21(木)13:30～16:00
場所：遊学の館

◆今後のスケジュール
第3回 1月18日(木) @国見地区
第4回 2月15日(木) @国見地区

◆今後のテーマ
・来訪者にどんな感情になってほしいのか
・来訪者にどんな価値を持ち帰ってもらえるのか
・インタープリテーション全体計画のテーマ言葉探しと選ぶ作業



次回参加希望の方は
こちらからお申し込みください。

インタープリテーション全体計画～雲仙温泉編～ 再掲

■雲仙温泉におけるインタープリテーション

「インタープリテーション」とは、国立公園や世界遺産、観光地などにおいて、地域の魅力や価値を、来訪者と共有するためのコミュニケーションです。自然環境や風景、文化財などが持つ固有の価値やストーリーを来訪者と共有し、来訪者と地域資源との間に特別なつながりをつくります。

美しい自然景観や気持ちのよい温泉は、だれもが楽しめるものですが、それらの背景にあるストーリーは見ただけでは知ることはできません。雲仙岳の勇壮な風景や、雲仙温泉のどこか懐かしい和風と洋風の町並み、そして、山麓や周辺の家からもたらされる豊かで多様な食、また、それらを育む人々の暮らしは、ダイナミックな地球の営みや、過去から現在まで続く歴史的な意味や価値を持っています。それらを地域側が共通認識を持ちお客様に提供する価値の底上げを図ることもIP全体計画の目的の1つです。



詳しくはこちらより
ご確認ください

雲仙市観光マーケティングレポート 2023年12月号

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

Find UNZEN 雲仙観光情報サイト
| 自分らしい雲仙を見つける |

一般社団法人 雲仙観光局 UNZEN Destination Service

〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙320番地 TEL：0957-73-3639 FAX：0957-73-3620
(公式URL) <https://unzen-dmo.com>(全員集合！雲仙ポータル) <https://www.unzen-portal.jp/>

本資料は、一般社団法人 雲仙観光局の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当局までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。※お問い合わせ先：雲仙観光局／ブランディング・マーケティング部（担当：黒原・白濱）本資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまのご判断でご利用ください。

